



最新作を発表発売！IFFT2023 東京国際家具見本市に出展します。

2月28日[火]～3月3日[金] 会場:東京ビッグサイト

カンディハウスは旭川家具工業協同組合出展の一社として、東京ビッグサイトにて行われる「IFFT2023 東京国際家具見本市」に参加いたします。パーソナルな空間づくりを可能にするチェア「フラン」や、日本の美意識を表現した「AIMA」シリーズの新リビングモデルを中心に、人気の高いダイニングセットや収納を含め、心地よい暮らしをトータルにご提案いたします。また、新作のリーディングスツール「タブ」や、デザイン性の高いチェアの復刻となる「スラット」など、コントラクトへ向けた空間提案にもご注目ください。

企画展示ブース「ジャパンプレミアム ファニチャー・コレクション」では、〈大自然を望めるオフィスシーン〉をテーマに、主力のオフィスアイテムによるモダンな空間提案をご体感ください。

IFFT2023 東京国際家具見本市 概要

会期：2023年2月28日[火]～3月3日[金] 10:00-17:00 ※最終日は16:30まで

会場：東京ビッグサイト 東展示棟 東7ホール（東京都江東区有明3-11-1）

※来場をご希望の方は、IFFT2023公式サイトより事前登録をお願いいたします。

<https://messe.nikkei.co.jp/if/>

当プレスリリースに関するお問い合わせ先

(株)カンディハウス デザイン企画本部 中田・尾田

Tel 0166-47-9967 Fax 0166-49-2225 E-mail kikaku@condehouse.co.jp

「旭川&飛騨合同展示」と「ライフスタイル提案の企画展示」、 2つのブースに出展。

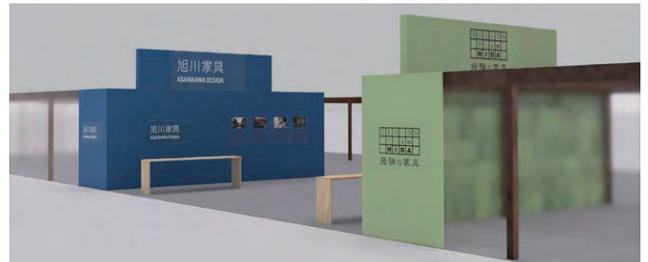
● カンディハウスブース(旭川家具工業協同組合)概要

ブース : IF7001

ブース面積: 64㎡

出展製品: AIMA リビング / スラット / タブ / フラン リビング / AIMA ダイニング / SLテーブル / KARI ダイニング /
クォードリビング(15) / テンリビング / ハカマ ダイニング / FOUR / セレクトファニチャー A+ 計28点

今年は飛騨木工連合会と合同出展による国産ブランドの価値を訴求。ブルーのサインを掲げ産地旭川をアピールいたします。組合全体で取り組んでいる「この木の家具・北海道プロジェクト」の更なる推進をPR。地球環境に配慮したものづくりへの考えやブース設えには、再利用可能な柱と梁を採用することにより、環境への負荷を削減する取り組みを行います。



旭川&飛騨 プレスカンファレンス 主催:旭川家具工業協同組合、協同組合 飛騨木工連合会

この度、旭川家具工業協同組合と協同組合 飛騨木工連合会は、「IFFT2023 東京国際家具見本市」において2013年以來の合同展示を行い2産地から合計16社が出展いたします。つきましては、プレス皆さまに旭川と飛騨の家具をご体感していただく、「旭川&飛騨 プレスカンファレンス」をIFFT会場内の旭川・飛騨合同ブースにおいて開催いたしますので、ぜひ、会場までお越しください。

日時: 2023年2月28日[火] 13:00-13:40

会場: 東京ビッグサイト 東7ホール

(旭川家具工業協同組合×協同組合 飛騨木工連合会) 出展ブース

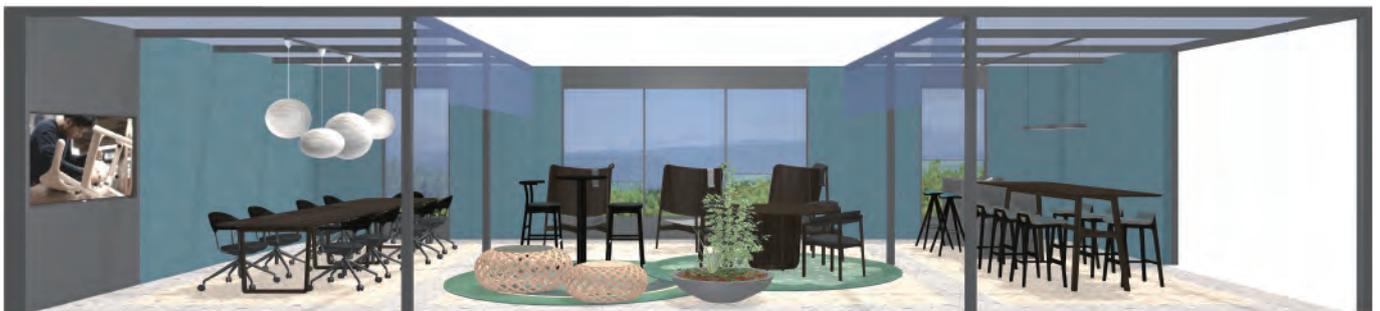
お申し込みは
こちらから▶



● [企画展示] ジャパンプレミアム ファニチャー・コレクションブース概要

ブース面積: 70㎡

出展製品: FOUR / フラン リビング / KINA LUX / ONE LUX ダイニング / AIMA ダイニング / SLテーブル / KOTAN / キュウ /
テン ダイニング(21) / BCTD 計36点



「ジャパンプレミアム ファニチャー・コレクション」は、日本を代表する家具メーカー8社をフューチャーしたライフスタイル提案の企画展示です。各メーカーは、インテリア産業協会により選出されたインテリアコーディネーターと協力し、各テーマに沿ったブースづくりを行います。

カンディハウスブース テーマ: 大自然を望めるオフィスシーン

担当インテリアコーディネーター: 株式会社メック・デザイン・インターナショナル 新保 匡史氏 (nor design)

復刻プロジェクトから生まれた斬新なデザインのチェアを発表発売。

スラット

New Series

Richard Schultz / リチャード・シュルツ



洗練されたディテールで現代に蘇る、リチャード・シュルツ氏が感じた「ニッポン」。

「スラット」は、20世紀を中心に活躍したプロダクトデザイナー、リチャード・シュルツ氏が1984年にデザインした椅子です。カンディハウスの海外拠点「CondeHouse U.S.A.」が、ブランド構築に向けた海外限定アイテムとして発表。日本でも1996年から数年間販売されましたが、その後廃番となっていました。シュルツ氏は自由な発想力が魅力で人間的にも大らか。カンディハウスの現地スタッフとも信頼関係を築いていましたが、以後仕事を依頼する機会には恵まれませんでした。

氏が亡くなったとの知らせを受けたのは2021年のこと。私たちは、敬意を表すべく「スラット」の復刻プロジェクトを開始しました。デザインはそのままに、現在の技術を生かして安定感と強度を高める見直しを行いました。細長い木のパーツとスチールパイプで構成されたこの斬新なデザインは、シュルツ氏を日本に招いて各地を案内した際に目にした、竹細工の折りたたみ型のおしぼり受けからインスピレーションを得たそう。腰掛けるとわずかに背がしなり、見た目の印象よりもやさしい掛け心地です。ホテルのロビーや美術館のホールなどでオブジェ的な存在感を発揮するほか、バルコニーのようなインテリアとエクステリアの中間領域にもマッチするデザインです。

【ラインアップ】 スラット：チェア ※2023年3月1日発売

【樹種】 北海道ナラ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL 7色展開 ※脚はS-BL

【サイズ】 巾540 奥585 高815 座高440 【価格】 ¥187,000(170,000)



リチャード・シュルツ / Richard Schultz (アメリカ)

アイオワ州立大学とイリノイ工科大学で学んだ後、1951年ノル・インターナショナル社に入社。Harry Bertoiaのアシスタントとして、ワイヤーチェアの開発および生産開発に携わる。また、当時はほとんどなかった、エレガントですっきりとしたデザインの屋外用家具を発表し評価を得る。1972年の独立後はプロダクトデザイナーとしてさまざまな企業と協力し、製品の設計と開発を行う。1992年、息子のピーターとともに「リチャード・シュルツ・デザイン」を立ち上げ、クラシックモダンなガーデンファニチャーのデザイン、製造、販売に力を注いだほか、銅やその他の素材を使った彫刻の制作にも熱心に取り組んだ。1967年 International Design Awards受賞。2021年逝去。

包まれる感じが心地よいパーソナルチェアに、電源オプション追加。
新アイテムのサイドテーブルとともに、美しいワークスタイルを実現します。

フラン リビング IFDA2021 入選作

Shimozato Shuhei / 下里 修平



心地よく、遮断される。リラックスしながら集中できる特等席。

2021年の「国際家具デザインコンペティション旭川[IFDA]」で注目が集まった入選作をブラッシュアップして製品化。まわりの視線を遮る高さと体を包むような背、体勢を自由に変えられる座面の広さ。ほどよく間を保った個の空間づくりを可能にし、公共施設や空港、またオフィスやカフェなどの空間構成にも役立つ一脚です。くつろぐだけでなく仕事をする場面も想定した収納付きのサイドテーブルをご用意。オプションで電源ユニットが内蔵でき、充電しながらの作業にも対応します。チェアと同じ北海道産タモ材の鮮やかな木目が、空間の雰囲気をやわらげ美しい一角をつくれます。

【ラインアップ】 フランリビング： イージーチェア / ヘッドレスト / サイドテーブル φ51

【樹種・塗装】 北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL 7色展開

■ イージーチェア + ヘッドレスト ※販売中

【サイズ】 巾1000 奥775 高1210 座高410

【価格】 ¥277,200(252,000)~¥445,500(405,000)

電源オプション +¥28,600(26,000)

■ サイドテーブル φ51 ※2023年3月1日発売

【サイズ】 直径510 高580

【価格】 ¥99,000(90,000)

電源オプション +¥19,800(18,000)

New Item



下里 修平 / Shuhei Shimozato (日本)

1980年兵庫県生まれ。神戸芸術工科大学工業デザイン学科卒業。旭川高等技術専門学院造形デザイン科で木工を学ぶ。特注家具メーカー、インテリアナスに入社し、家具の製造とデザイン設計業務に従事。2018年旭川にてカブラ舎を設立。家具のデザイン・設計・開発に関して多角的な視点でサポートしている。

「国際家具デザインコンペティション旭川2021[IFDA]」入選作品を製品化。 今春いよいよ発売。

タブ

New Series

IFDA2021 入選作

Ishibashi Tadahito / 石橋 忠人



灯りの中に、腰掛ける。機能の一体化による新しい価値。

無垢の厚い座と、細いパイプ使いのコントラストがユニークなスツール。1脚で空間のアクセントになるほか、2、3脚まとまると光の集合体として存在感を放ちます。美術館やギャラリー、ホテルのロビーなど、そこに集う人々とともに美しいシーンを創出します。

【ラインアップ】 タブ：スツール RL ※2023年3月1日発売

【樹種・塗装】 北海道タモ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL 7色展開 ※脚部3色

【サイズ】 巾485 奥590 高1860 座高440

【価格】 ¥198,000(180,000)



石橋 忠人 / Ishibashi Tadahito (日本)

1970年千葉県生まれ。中学生まで札幌の藻岩山の麓で過ごす。1995年千葉大学工学部工業意匠学科卒業。国内電機メーカーにて8年のインハウスデザイナーの経験を積んだ後にビジネスコンサルティング会社にてクリエイティブ業務を担当。インハウスデザイナーで培ったデザインスキルとマスプロダクションへの造詣、ビジネスコンサルティング会社で得たビジネスの知見をもって2005年に有限会社アイディーエルを設立。国内外の家電、情報通信機器、家具などのデザイン開発やコンサルティング業務に携わっている。クライアント企業の想いや、ユーザーの使い心地に丁寧に寄り添い、合理的な構造や素材選定で簡潔なデザインを導く事を信条としている。

iF Design Award、グッドデザイン賞など受賞多数。2010年、2011年 経済産業省デザイナー海外派遣事業選抜デザイナー。2016年～法政大学デザイン工学部非常勤講師

多様な文化と美学の間を表現した「AIMA」シリーズに、
贅沢な掛け心地を追求したリビングモデルが登場。

AIMA リビング

New Model

Gwenael Nicolas / グエナエル・ニコラ



出会った瞬間、好奇心を刺激する。
アームの「合間」に宿った、「未完の美」。

アームの「合間」が象徴的なこのイージーチェアは、一瞬で見る人の視線を掴み、ホテルのラウンジをはじめさまざまな集いの空間を彩ります。やや角度を付けた奥行きのある座面と、回り込んだ背が自由な体勢を支えるデザインで、掛け心地にもグレード感を追求。フランスのデザイナー、グエナエル・ニコラ氏が考える日本の美意識「未完の美」が、氏の独特な感性により表現されています。

【ラインアップ】 AIMA リビング：イージーチェア ※2023年3月1日発売

【樹種・塗装】 北海道ナラ NF/WNF/MBR/DBR/GY/DGY/BL 7色展開

【サイズ】 巾615 奥650 高690 座高415 肘高515

【価格】 ¥198,000(180,000)～¥270,600(246,000)



グエナエル・ニコラ / Gwenael Nicolas (フランス)

デザインスタジオ・キュリオシティ代表。東京を拠点に、国際的なラグジュアリーブランドの店舗・空間デザインを中心に、インテリア、プロダクト、インсталレーション、グラフィックなど、シームレスに活躍。各ブランドの真髄、商品の魅力を最大限に引き出すストア作りが高く評価され、世界の主要都市の旗艦店を多く手がける。また、近年ではホスピタリティ分野にも進出し、ホテルやレジデンスのデザインでも活躍を期待されている。

<https://curiosity.jp/ja>